

**第58回 神奈川県高等学校総合体育大会 兼 令和2年度 全国高等学校総合体育大会 柔道競技大会**  
**第69回 全国高等学校柔道大会 神奈川県 予選会**

- 主催：神奈川県高等学校体育連盟 神奈川県教育委員会
- 主管：神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部
- 後援：神奈川県体育協会
- 日時

(1) 個人の部：令和2年6月 6日（土）	男子60kg級・66kg級・90kg級・100kg超級	午前10時10分開会	
	13日（土）	男子73kg級・81kg級、女子全階級	午前10時10分開会
(2) 団体の部：令和2年6月20日（土）	男子・女子	午前10時20分開会	

- 場所：神奈川県立武道館
- 参加資格

- 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- 選手は、神奈川県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により参加資格を得た者であること。
- 令和2年度（財）全日本柔道連盟に登録を完了した者であること。
- 平成13年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年の出場は1回に限りとする。
- チーム編成においては全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- 転校後6ヶ月未満の者は出場できない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住などの理由よりやむを得ない場合は、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部長の認可があれば、この限りではない。
- 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。
- 初心者については、安全に対処できる技能を十分に身に付けたうえで参加させること。
- 参加資格の特例

- 上記（1）（2）に定める生徒以外で当該競技実施（大会）要項により大会参加資格を満たすと判断され、神奈川県高等学校体育連盟柔道専門部が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- 上記（4）のただし書きについては、学年区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、3回限りとする。

- 外国人留学生の参加については、卒業を目的とし入学していること（短期留学は認めない）。

- 1) 県内大会団体合同チーム〔統廃合の対象となる学校を除く〕での参加については競技会案内「大会共通事項」の「合同チームの参加について」を参照する。

- 2) 県内団体試合の参加について

- 1) 県内大会においては、試合の規定人員（補欠を含む人数）に満たない学校の参加も認めるが県内大会を予選会とする上位大会には、規定人員等の参加資格を満たしていない学校は代表校として推薦されない。この場合、条件を満たしている学校を対象として、常任委員会が代表校を選考する。

- 3) 参加者は、自己の身体を安全に対処できる技能を身につけた者であること。

- 4) 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。

- 1) 大会前1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、専門医（脳神経外科）の診察を受け、出場の許可を得ること。
- 2) 大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
- 3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- 4) 当該選手の指導者は大会事務局および県柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

- 5) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

7. 競技種目

- 男子個人の部

- 1) 下記の体重区分による。各階級への参加申込人数は、最大6名までとする。
  - 60kg級 (60kg以下)
  - 66kg級 (60kgを超えて66kg以下)
  - 73kg級 (66kgを超えて73kg以下)
  - 81kg級 (73kgを超えて81kg以下)
  - 90kg級 (81kgを超えて90kg以下)
  - 100kg級 (90kgを超えて100kg以下)
  - 100kg超級 (100kgを超える)
- 2) 登録選手の体重が登録階級の体重区分にない場合は失格とする。
- 3) 外国人留学生の参加人数制限は設けない。
- 4) 今年度に限り、男子個人の部は国体予選を兼ねるものとする。

- 2) 女子個人の部

- 1) 下記の体重区分による。各階級への参加申込人数は、制限しない。
  - 48kg級 (48kg以下)
  - 52kg級 (48kgを超えて52kg以下)
  - 57kg級 (52kgを超えて57kg以下)
  - 63kg級 (57kgを超えて63kg以下)
  - 70kg級 (63kgを超えて70kg以下)
  - 78kg級 (70kgを超えて78kg以下)
  - 78kg超級 (78kgを超える)

- 2) 登録選手の体重が登録階級の体重区分にない場合は失格とする。
- 3) 外国人留学生の参加人数制限は設けない。
- 4) 試合結果は国体の選考対象とする。

- 3) 団体の部

- 1) 各学校1チーム参加できる。
- 2) チーム編成は次のとおりとする。
  - 男子の部 監督1名・選手5名・補欠1名とする。
  - 女子の部 監督1名・選手3名・補欠1名とする。
- 3) 合同チームによる参加を認める。
- 4) 体重は無差別とする。
- 5) 外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

8. 試合規定

- 1) 国際柔道連盟試合審判規定によって行う。
- 2) 試合時間は4分とする。ただし、
  - 1) 団体の部の予選リーグの試合は3分とする。
  - 2) 個人の部の男子ベスト16決定までの試合と女子のベスト8決定までの試合は3分とする。
- 3) 優勢勝ちの判定基準

- 1) 個人の部においては、「技あり」「僅差」（指導の差2）以上とする。判定基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、判定の基準は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- 2) 団体の部においては、「技あり」「僅差」（指導の差2）以上とする。チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。判定基準は個人の部に準ずる。判定基準に満たさない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、判定の基準は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- 3) 団体試合の予選リーグにおいてチーム内の内容が同等の場合は代表戦を行う。また、順位決定については競技案内「大会共通事項」の「県内大会 団体試合 予選リーグ戦 競技方法の補足」を参照のこと。

9. 競技方法

- 1) 個人の部はトーナメント戦を行う。なお、男子の部については第3位決定戦を行う。
- 2) 団体の部はまず3～4校を1組としての予選リーグを行い、予選リーグの勝ちチームによるトーナメント戦を行う。

10. 表彰は団体の部・優勝チームには優勝旗・優勝杯を贈り、団体・個人の部の各階級の第5位まで賞状を贈る。

11. 申込方法

- 1) 所定の申し込み用紙による。
- 2) 期限は下記のとおりとする。なお、期限内に参加料の振り込みの完了と申込書が必着すること。
  - 1) 個人の部は5月7日（木）から5月15日（金）までとする。※できるだけ早く申し込みを行ってください。
  - 2) 団体の部は5月11日（月）から5月18日（月）までとする。

- 3) 参加料

- 1) 個人の部：1名 ¥700
- 2) 団体の部
  - 男子の部：1チーム ¥6,000（合同チーム：¥3,000）
  - 女子の部：1チーム ¥3,500（ 〃 ：¥1,750）

- 3) 納入期限：5月22日（金）から5月29日（金）までとする。

※競技会案内のⅡⅢ 2. 物料を参照のこと。

12. その他

- 1) 男子・女子個人の部各階級の優勝者7名および男子・女子団体の部優勝校を県代表として全国大会に推薦する。
- 2) 男子・女子団体の部の組み合わせについては、公開抽選により行う。参加校の代表生徒または顧問が必ず出席すること。

抽選会日時：6月10日（水）15時から 抽選会場：未定

なお、公開抽選が実施できなかった場合は常任委員会によって責任抽選を行う。結果は6月11日（木）柔道専門部ホームページにて行う。

- 3) 会場入館時に「入館者名簿」を提出する。その名簿には、氏名と大会実施日・朝の体温を記入する。手の消毒を行う。

- 4) 無観客試合とする。会場には顧問・引率者と出場選手のみ入場できる。ただし、出場選手合計が奇数の場合、打ち込み要員として1名増員してよい。

敗退した選手・チームは速やかに退館すること。

- 5) 開会式・閉会式は実施しない。なお、開会式時に行われる「試合上の注意」と「運営上の注意」は公開抽選会時にて行うが、抽選会が実施できなかった場合は、柔道専門部ホームページにてその内容を掲載する。